

# Popoki



Newsletter No.198 2022.2.25

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>



2月！さむ〜〜〜い！！でも、ポーポキが住んでいる町に梅の花が咲き始めました。もう少しで春ですね。あなたは春が好きですか？

## Popoki's Hot News!



「ポーポキのマスクギャラリー」動画！

<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

「ポーポキのおうち」動画

<https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8>

「ねこのポーポキとピースぱくぱくをつくりましょう！」

<https://youtu.be/FoT4pCWWRnQ>

Coming soon !

ロニー・アレキサンダー編著

『ポーポキのマスクギャラリー ～コロナ禍でアートを通して日常の安心を探る～』神戸大学出版会 2022.2.22 発行予定

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのほにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。



「青空の下で、ゆっくりと紫煙をあげる。あぁ平和だ。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

大船渡北小学校 4 年生 20 人の幸せとは

NP0 法人おはなしころりん 理事長 江刺 由紀子



大船渡市立大船渡北小学校 4 年生



大船渡町の地図に「平和」の内容をフセンで貼る

小学 4 年生は 2013 年生まれ。2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の 2 年後に生まれてきてくれた子どもたちである。当時は復旧工事の真ただ中で、市民は地元がどのような景色に作られていくのかイメージが追いつかないでいたため、不安がいつも心のどこかにある状態だった。家を流された市民は、仮設住宅暮らしの不便さや孤立への心配が尽きず、人が集まれば震災時の悲しい思い出を語って慰め合った。

そんななか、生まれてきた子どもたちは皆の希望であった。赤ちゃんがいるだけでまわりの大人は笑顔になり、生きる力がわいてくる。「この子たちが生活する地域をしっかりと作っていききたい、そして、この子たちが大船渡で幸せに暮らせるよう守りたい」という気持ちが大人たちを奮い立たせた。日本中、世界中からのご支援のお陰様で、徐々に復興に近づいてきたのだが、また必ず来るであろう地震や津波への備えも進めなければ地域を守れない。

防災に強いまちづくりには多様な人々の参画が重要である。若者・女性・高齢者・障がい者・外国人・移住者など。参画に結びつけるには、普段からの人と人とのつながりが大事になってくると考える。家族の絆、近所付き合い、地域協力、様々なつながりによって人は支え合うことで、平和な社会へ展開していこうと望むのではないだろうか。自分が、この「つながりづくり」に注力して NP0 活動をするのは、上記の理由によるものである。

ポーポキ・ピース・プロジェクトと関わる機会に恵まれ、一緒にイベントを年 1 回実施し続けて 4 年が経つ。そのうち 3 年は、大船渡北小学校の特定の子どもたち対象でおこなっているが、これは同じ子どもたちとつながりを維持するという、とても素晴らしい活動だと思っている。

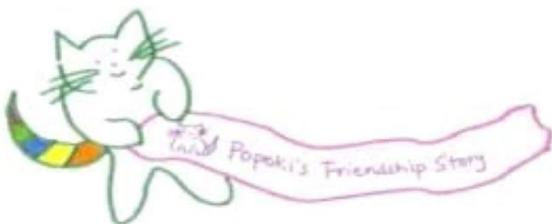
彼らが 2 年生のときは、ロニー教授をはじめポーポキプロジェクトの皆さんが実際に学校を訪問し、直接的な触れあいのなかで、いっしょに絵を描きながらワークショップを楽しんだ。3 年生では、コロナ禍で岩手県独自の緊急事態宣言が発令され、学校側としては外部者の受け入れが難しく、ビデオレターでメッセージを伝えながらの授業となった。そして、4 年生になった今年度は、オンラインで交流でき、「住んでいるまちに自分の幸せを見つける」という内容で、子どもたちは夢中で取り組む結果となった。喜ばしい限りである。

当日、私は事前に教室の子どもたちと話をしながら、オンライン交流に続く雰囲気を作っていたのだが、「えーと、ネコちゃんの名前って何だっけ？」とたずねたら、そちらこちらから「ポーポキ！！」という元気な声が響いた。私の「覚えてる人は？」の問いかけに、4年生 20 人全員が笑顔で手を挙げた。直後、ひとりが 1 冊の本を頭の上に掲げて、「去年のポーポキ絵本を持ってきました！」と見せてくれた。沸き起こる拍手。子ども一人ひとりの目の輝きを見て、変わらぬ信頼関係が良い影響を子どもたちに与えているのは明確だと確信したのである。

安全な環境と信頼できる人がいることで、安心感が生まれると考えている。その安心感があってこそ、子どもはのびのびと成長できるのではないか。ロニー教授作の絵本の読み聞かせをじっくり聞いた後に、それぞれが自分の平和について考えた。見つけた平和を文字に起こしてフセンに書き、それを地図に貼ったら、地図上の道が判別できなくなるくらい、平和フセンで埋められいった。フセンの書き込み内容は、おおまかに 2 種類に分けられるようだ。

1 つは自分の行動による主体的な幸せである。「学校で本を読む」「テストで満点をとった」「ピアノの練習」「寒い日のお風呂」「ぬいぐるみを抱いて寝る」「ご飯を食べる」など。自分が好きなことなどをおこなって、幸せを感じるというもの。幸せに向かったの積極的な行動と言える。

もう 1 つは、誰かに何かをしてもらう幸せ。「お母さんがご飯をつくる」「家に家族といっしょにいる」「毎日、スクールガードさんが登下校を見守ってくれる」「友達がいっしょにサッカーをしてくれる」など。他者が自分のために行動を起こすことで自分が幸せを感じると言うもの。同様の意味で、今年度もポーポキプロジェクトの皆さんが自分たちのために、離れていてもこうして交流してくれることに幸せを感じ、それが“感謝”の気持ちを彼らに抱かせるのだと思う。子どもたち、学校の先生方に代わって、御礼申し上げます。ありがとうございました。



## \*Popoki's Interview\*

Ana にゃん

\*新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、秋に神戸大学大学院国際協力研究科の元学生からトンガの火山噴火のレポートです。

\*\*\*

「火山噴火：恐怖、不安...そして安全」

アナ・コロキハカウフィシ

私が住んでいる世界の隅っこの 2022 年 1 月 15 日は良いお天気の晴れの日として始まりました。私はトンガという南西太平洋の島に住んでいます。近くにニュージーランド、オーストラリア、フィジーといった国があります。

その日の午前中に結婚式に行っていて、帰りに姪の3回目の誕生パーティーに寄るつもりでした。突然に爆音が聞こえ、タイヤがパンクしたかと思って、道路わきに車を寄せてみてみようと思いました。ちょっと変な感じでした。なぜなら、爆音がだんだん大きくなってきて、そして前にあったお店の前にいた人たちは上を見ていた…。何と、火山が噴火している！この火山（フンガートンガーフンガーハ・アパイ）は昨年12月から活動が活発化していて、火山の周りに雲が発生し、特に1月15日の巨大な爆発の前から火山の周辺の雷も目立つようになっていました。<sup>1</sup>

何が起こるかわからないので、怖くなり始めました。でも、ひとまず帰ろうと決心しました。なぜなら、津波が来る可能性が高いとわかっていたので、家族が内陸へ移動することを手伝おうと思ったからです。その前の日も、火山活動のために津波警報が鳴りました。そのことがあったので、津波という潜在的な危険を認識できました。でも、またさらに大きな叩きつけるような爆音が起こったので、道路の反対側に急に向きを変えて車を寄せて、急いで家族の安否を確認するために彼らに電話しました。兄に連絡が付いたので、私は家に帰ってそこにいる人たちを内陸へ連れていくと伝えました。帰り着いたら、トンガタプの中心部へ向かう車の行列に気着きました。私はすでにパニック状態になっていて、逃げるために家族を早く車に乗るように促していました。やっと水などの必需品を車に乗せて姪と一緒にトフォアという内陸の高度の高い村へ向かいました。幸い、兄夫婦はこういった高いところに住んでいるので、そちらへ向かいました。

出る前に、小さな子どもたちはみんな泣いたり、怖がったりしていました。あとで家族の大人たちが振り返ったら、みんなは子どもたちが怖がっていたことを悲しいこととして思い出しました。その後、妹と話したけれど、彼女に6歳の娘がいます。津波がきたらどうしたらいいかを妹が娘に教えていたと聞いて、悲しくなりました。何があっても生きるんだ、と伝えました。木かなにかにつかまって…。お母さんがわからなくなっても心配しなくていい。後で必ず探しに来るから。これを聞いて、悲しくなりました。なぜなら、津波に覆われたら、私たちは子どもたちを助けることができないと思ったからです。

私は姪と一緒に車に乗り、家族の他の人は私たちのあとにつく形で出発をしようとしたとき、空から灰と小さな黒い石が降り始めた。家の屋根はアルミでできていた、小さな石の音を聞いたら、もっと大きな石や火が飛んでくるかもしれないと心配し始めました。そして、それからその日の最も怖いことが起こりました。一瞬にして、明るい空が真っ暗に変わりました（火山灰のため）。次に何が起こるかわからないでとても不安でした。私たちはこの試練を生き残ることができるか…。内陸へ行く途中、夕方の5:30頃にとっても見えにくくなってしまいました。その理由は、灰が降り続けていたために、フロントガラスに水をかけていたからです。車が渋滞していて、アメリカにいる一番上の兄にビデオ電話をかけてみることにしました。状況を伝えると、もしかしてもう話すチャンスはないかもしれないと思いました。私たち家族はそのうちに全員無事にたどり着いて、未だに兄の家にあります。噴火だけではなく、今度は新型コロナウイルス感染症もトンガにやってきました。

私が知っている限り、爆発のために3人が死亡し、立て替えを必要とするほど被害を受けた民家は100棟を上回っています。噴火の後、トンガは灰に覆われて、飲み水が不足することが懸念さ

---

<sup>1</sup> 噴火の前兆は他にもありました。例えば、噴火の前日に悪臭が発生したことや、その晩に空が鮮やかなオレンジ色になりました。

れていましたし、屋根や道路を掃除する必要はあったけれど、最近はずっと落ち着いてきています。ただ、速度の速いインターネットのための回線が切れたために、インターネットがつながり難しくなり、現在も衛星を使って、限定的な利用が可能です。

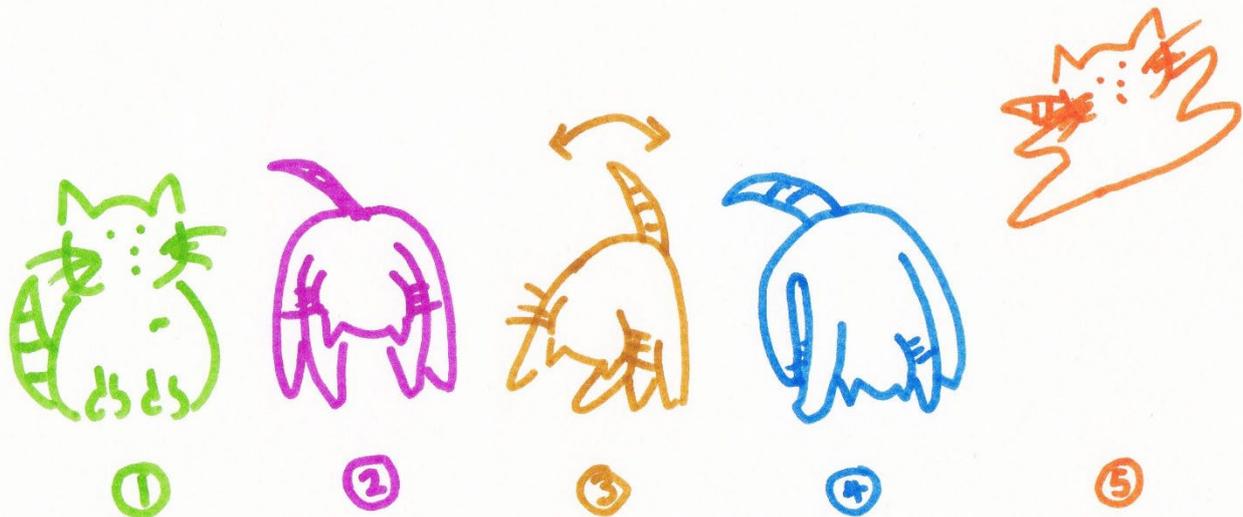
私たち家族は無事だということでホッとしていますが、忘れられない出来事で、これからもずっと話題にするでしょう。



# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 166

今月のテーマは、足や腰のストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
  2. では、足を肩幅に開いて立ちましょう。そして、ゆっくりと上半身を前へ倒しましょう。手は床につきますか？膝を曲げてもいいですよ！
  3. 次は、下半身をそのままをキープしながら、手を右の足の外側へ動かし、キープ。真ん中に戻って、左足の外側へ。そこでまたキープ。
  4. 最後は前かがみになり、足を通して天井を見ましょう。手は足の後ろに置くと良いかも。
  5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？



次回のポー会：2022年3月28日（予定） Zoom会議 19:00～\*

\*\*\*リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

3.6 ポーポキ展示@びっくり箱！ 東日本大震災支援イベント <https://takarazuka-c.jp/topics/t-bikkuribako/entry-1202.html>

3.9 15:00～17:00 ろにゃんの最終講義（対面・遠隔）<http://www.gsics.kobe-u.ac.jp/indexj.html>

ポーポキの友だちからのおすすめの本等

- ・『りょうくんのすずむみちー学校に行けない君たちへー』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。
- ・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
- ・アレキサンダー ロニー&桂木聡子 (2020) 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17-32 (2020年1月発行) [http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/detail](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail)
- ・Alexander, Ronni (2021) “The Meaning of Art in Disaster Support: Stories from the Popoki Peace Project,” *Journal of International Cooperation Studies*, 28(2), 1-22. [http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/detail](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail)
- ・Alexander, Ronni (2022) “Art-stories as reflection: Learning from the Popoki Peace Project,” *Journal of International Cooperation Studies*, 29(2), 27-51. <http://www.research.kobe-u.ac.jp/gsics-publication/jics/>

全編日英対照

神戸大学出版会

# ポーポキの マスクギャラリー



令和4年3月  
発売!!

A5判・192ページ  
定価 2,420円 (税別)

～コロナ禍でアートを通して  
日常の安心を探る～

編著・絵 ロニー・アレキサンダー

Written, edited and illustrated by Ronni Alexander

## 【本書の内容】

### 前書き

#### 第一部：ことばの旅

「ことばの旅」への誘い

#### 第二部：「お絵描き」の旅

- ① 物語を描くということ
- ② くちゃくちゃ
- ③ 色たち
- ④ いかなきや(桂木聡子)
- ⑤ 2021.1.17 に想う
- ⑥ 乱れ
- ⑦ プール

#### 第三部：「ふりかえり」の旅

「ふりかえり」の旅

- ① ポーポキのマスクギャラリー — 基盤となる日本人の伝統的思考法を考える— (高田哲)  
Popoki's Mask Gallery — A consideration based on traditional Japanese ways of thinking (Takada Satoshi)
- ② 対談：アナ・アガサングロウとロニー・アレキサンダー (世界国際関係学会年次研究大会2021年)  
Conversation: Anna Agathangelou and Ronni Alexander (International Studies Association Annual Conference 2021)
- ③ ポーポキの旅: ポーポキのマスクギャラリーができるまでの道のり (ロニー・アレキサンダー)  
Popoki's Journey: How Popoki's mask gallery came to be (Ronni Alexander)

### 後書き：新たな旅

今度はあなた

### Prologue

#### Part I: A Word Journey

An Invitation to take a Word Journey

#### Part II: A Drawing Journey

The Meaning of Drawing Stories

All Messed Up

Colors

I've Gotta Go (Katsuragi Satoko)

Thoughts on 17 January 2021

Confusion

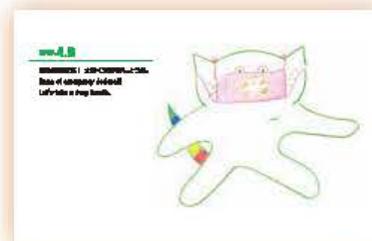
Pool

#### Part III: A Journey of Reflection

A Journey of Reflection

### Epilogue: A New Journey

Now it is Your Turn



本文より抜粋



発行：神戸大学出版会 <https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/>

神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 Tel. 078-803-7315 Fax. 078-361-7320

発売：神戸新聞総合出版センター

神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F Tel. 078-362-7138 Fax. 078-361-7552

- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. [http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/detail](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail)
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのみど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア37団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー“人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO:66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. [kansaiscene.com](http://kansaiscene.com)
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの(連載)とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑯(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『「ポーポキ、友情って、なに色?」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!!プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり6名がパネル制作」2008.10.8. 10



## 私にとってポーポキ

クリスタルにゃん

- クリスタルにゃんは私たちのために、対訳版を作成しました。

- ◇ Nice to meet everyone. みなさん、はじめまして。
- ◇ My name is Crystal Boutilier. 私の名前はブートラー・クリスタルです。
- ◇ I am 31 years old. 三十一さいです。
- ◇ I am from Canada. カナダ出身です。
- ◇ I live in Ontario. オンタリオに住んでいます。
- ◇ I am a University of Waterloo student. ウォータールー大学のがくせえです。
- ◇ My majors are animal biology and Japanese language. 私のせんこうは生物学と日本語です。
  
- ◇ Waterloo is a famous and beautiful city. ウォータールーはゆうめいです
- ◇ When I was a child, my mother had passed away. 子供の時、母はしんでいました。
- ◇ I was a not a good student. あまりせいせきのよくないがくせいでした。
- ◇ Because I was very sad, I did not study. とても悲しかったから、べんきょうしませんでした。
- ◇ When I was a child, I wanted to be a hero. 子供の時、ヒーローになりたかったです。
- ◇ Heroes have swords. ヒーローは剣をもっています。
- ◇ That is why I wanted to learn kendo. だから私は剣道がまなびたかったです。
- ◇ I want to be a better person. もっとりっぱなひとになりたい。
- ◇ Kendo became very important to me. 剣道は私にとてもじゅうだいになりました。
- ◇ Because I love kendo, I practice every day. 剣道がすきだから、まいにちれんしゅうをしています。
- ◇ I have done kendo for 15 years. 15年間れんしゅうしました。
- ◇ My specialty is Kendo kihon kata wazas. 私のせんもんは剣道きほんわざのかたです。
- ◇ I have made lots of new friends. あたらしいともだちがたくさんできました。
- ◇ I was very happy and at peace. 私はすごく嬉しいとへいわでした。
  
- ◇ Now, Because of the Coronavirus I cannot do any Kendo. 今、コロナウイルスだから、剣道をしていません。
- ◇ We have been in home confinement. 私たちはじたくたいき。
- ◇ Students are not in the classrooms. 学生はきょうしつにいません。
- ◇ But, I am an essential worker. でも、私はエッセンシャルワーカー。
- ◇ I always leave the house wearing a mask. いつもマスクをつけてでかけます。
- ◇ I am so busy every day and I am exhausted. まいにちいそがしくてつかれています。
- ◇ I want a long vacation. ながいおやすみがほしいです。
- ◇ I wanted to go to Japan. 日本に行きたかったです。
- ◇ In Japan I would do such things as kendo and studying Japanese. 日本で剣道をしたり、日本語をべんきょうしたりしたいです。
- ◇ I want to eat a lot of Japanese Kit Kats. 私はたくさん日本のキットカットが食べたいです。
- ◇ Because of Corona virus, I will not go anywhere. コロナウイルスだから、どこへもいきません。

- ◇ I am feeling very sad about it. そのことでとてもかなしんでいます。
- ◇ Sometimes I am very lonely. 私はとてもさびしいです。
- ◇ I think that exercise is a great way to get rid of stress. うんどうをするはストレスかいしょうにいいほうほだとおもいます。
  
- ◇ I have two cats. 猫を2ひきかっています。
- ◇ Their names are Chino and Nuna Nuna. 彼らの名前はチノとヌナヌナです。
- ◇ Chino is grey with black spots. チノはグレーにくろいろの斑です。
- ◇ Nuna Nuna is small and a black colour. ヌナヌナはちいさくて、黒いです。
- ◇ My cats are my best friends. 私の猫はいちばんのともだちです。



親友、チノとヌナヌナ

- ✧ I think that Japanese Language is interesting but difficult. 日本語はおもしろいですが、むずかしいとおもいます。
- ✧ Kanji is the most difficult for me. かんじがいちばんむずかしいです。
- ✧ I intend to become good in Japanese language. 日本語がじょうずになるつもりです。
- ✧ I have grown fond of studying Japanese. 日本語のべんきょうがすきになりました。
- ✧ I will continue to do online school. オンラインでがっこうをつづけます。
- ✧ I went on a long journey and learned many things. ながいたびをして、いっぱいまなびました。
- ✧ But, I have not been anywhere. でも、どこにも行ったことがありません。
- ✧ **I hope next year will be better than this year.** 来年が今年より良くなることを願ってるよ。
- ✧ Let's work hard together! いっしょにがんばりましょう!
- ✧ I hope you will be happy! あなたが幸せになるよう願っています。



ウォータールーで冒険中の  
クリスタルにゃん



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com)へ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!